

【施用実績】茶

◇推奨品種と施用量、期待出来る効果

推奨品種: **マインマグC** **マインマグN** 施用量: 春肥・秋肥時 45~75kg/10a

ケイ酸・苦土の働きにより、**収量増加**が期待されます。

また、窒素・リン酸・カリウムを**減肥**しても**慣行と同等以上の収量**が期待出来ます。



■埼玉県農林総合研究センター茶業研究所

品種: やぶきた、さやまかおり、栽植密度180cm×30cm、弧状仕立て園

作業: やぶきた 一番茶5/19 二番茶7/11

施肥: 年間標準施肥量 N:45kg P:22.5kg K:22.5kg

【春肥】3/17 N18-P9-K9 【夏肥】6/10 N9-P4.5-K4.5 【秋肥】9/8 N18-P9-K9

試験条件

やぶきた

慣行

N P K 20%減肥 + マインマグ C60kg/10a (春30秋30)

さやまかおり

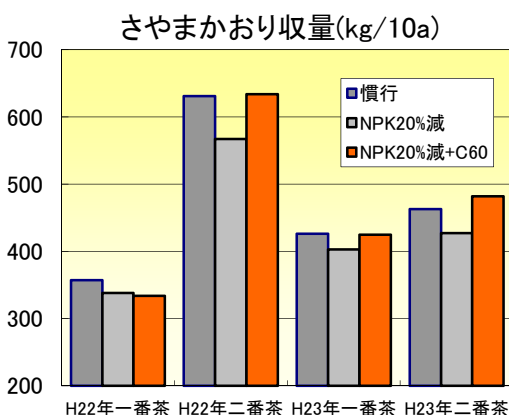
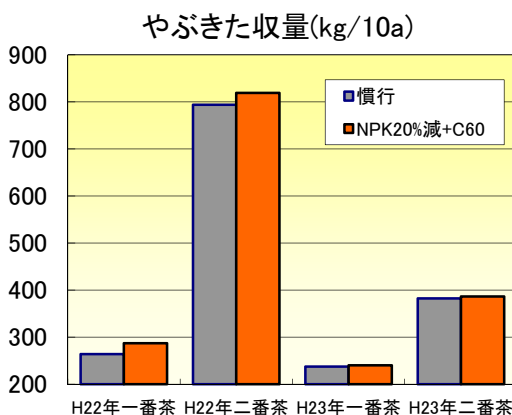
慣行

N P K 20%減肥

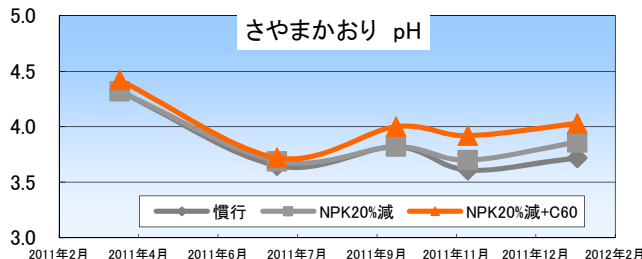
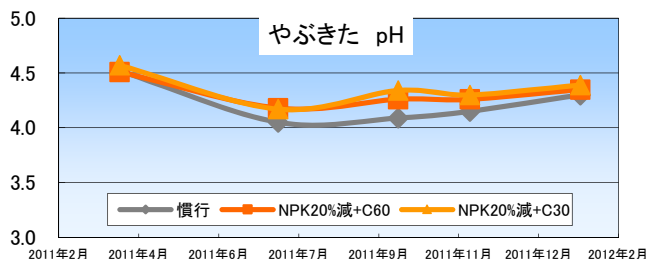
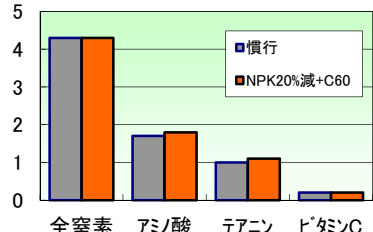
N P K 20%減肥 + マインマグ C60kg/10a (春30秋30)



圃場 (さやまかおり)



乾物% やぶきた一番茶の成分(H23年)



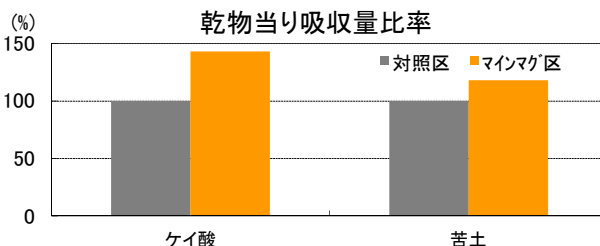
【評価】

・収量: 一番茶、二番茶ともに慣行施肥区に比べ、NPK20%減肥したマインマグ区が特に見劣りすることはなく、むしろ**収量が増加する**傾向が認められた。

・茶葉成分(全窒素、アミノ酸、テアニン、ビタミンC): 窒素成分を減らしても、明確な差は認められなかった。

■圃場: 茨城県

対照区	試験区
慣行	慣行 + マインマグC (100kg/10a)



【評価】(ユーザー様ご評価含む)

・マインマグ施用区は、全体的に**芽の伸びがよく、葉の色が良かった。**

・マインマグ施用区は、**収量が10%以上多くなった。**

・ケイ酸、苦土の吸収量は対照区より増加した。